



COVER STORY
表紙の
コトバ

(左から)
今田勝次さん(66)
英明さん(44)
(浜松市北区引佐町渋川寺野)

先祖から引き継いだ田んぼだから、大切にしたい

寺野ひよんどりで有名な引佐町渋川寺野の集落を奥へ進むと
ヒノキの木立の間から見事な石垣の棚田が現れます。

この日、棚田で稲の生育を確認していたのは今田さん親子。

お父さんの勝次さんは「昭和32～33年ころ、曾祖父が石を積み田んぼを広げていったのを覚えています。

一部はさらに古く、江戸時代の石垣もあるようです。

先祖から引き継いだ田んぼなので、大切にしたいと思っています」と話してくれました。

英明さんも勤めながら休日には田植えや稲刈り、茶園の管理に汗を流します。

「土に触れるのは楽しいですよ。近年、山の田畑を耕す人が減っていると聞きますが、
作物を育てる楽しさを分かってくれる人が増えるといいですね」と話してくれました。



① 写真の「門舞」の他、「風呂敷舞」「後舞」
の3種類の舞いが演じられる
② 祭りの日には、志都呂八幡神社を皮切りに、
公民館など志都呂町内十数か所で舞われる
③ 平成20年に新調された法被。白地に紅い
獅子頭が鮮やかに描かれている
資料提供・志都呂神楽連・浜松市文化財課

とぴあ管内で行なわれる年中行事やお祭り
四季に寄り添う人々の営みを紹介します

CONTENTS

| | | | |
|----|----------------|-----------------------------------|-------|
| 02 | とぴあ歳時記 | COVER STORY 表紙のコトバ | コンテンツ |
| 04 | とぴあ百景 | 根堅遺跡 | |
| 06 | しあわせのたねまき | 浜松市西区佐浜町 古橋 譲さん、清美さん | |
| 08 | 特集 | 農業が育てる地域の未来 ~自己改革の取り組みと全組合員調査~ | |
| 16 | とぴあ家庭菜園教室 | エンドウ | |
| 18 | 旬のかんづめ | ミニトマト | |
| 20 | とぴあトピックス | | |
| 23 | 笑味ちゃんのよい食ゼミナール | ~カラフルあんこ玉~ | |
| 24 | 農業を元気に! | 青壮年部 / 健康クリニック | |
| 25 | おしらせ | とぴあ | |
| 28 | とぴあの協同活動 | | |
| 30 | 仲間広がるとぴあピープル | 経営管理委員会だより とぴあのデータ とぴあ暦 おたより 編集後記 | |
| 32 | おもいで行き | 旅行案内書(ガイドブック) | |



志都呂神楽

10月6日(土)7日(日) (浜松市西区志都呂町)

伝承によると、元禄11年(1698)

志都呂の御陣屋の門を建立した際、

悪魔よけとして舞われたのが起源という志都呂神楽。

その後、志都呂八幡神社の神前神楽として

東組の青年によって継承されてきました。

昭和30年代までは中学卒業後2年間は

神楽を舞うことを義務付けられていたとのことですが、

昭和50年(1975)に保存会が結成され、

現在は町内の有志によって継承されています。

志都呂神楽保存会会長の齋藤和久さんは

「これまでは1頭(牝)で舞っていましたが、昨年からは

1頭(雄)増やし2頭で披露することになりました。

これからも伝統を引き継ぎ、会員みんなの協力を得て

がんばっていききたいですね」と話していました。